

団体指導責任者 各位

令和3年8月1日  
江東区剣道連盟 会長 中山 峯雄  
理事長 足立 至弘  
(公印省略)

## 稽古におけるの注意事項

新型コロナウイルス感染症が広がる中で、その拡大防止に留意しながら江東区剣道連盟の稽古が再開し、1年余りが経過しました。

江東区剣道連盟として全剣連・東剣連のガイドラインを遵守し、対人稽古において感染防止対策を徹底し、使用施設の対応を守り、段階的に稽古を行ってまいりました。会員の皆様においても新型コロナウイルス感染症ならびに熱中症等に注意した上での稽古への協力について、あらためて感謝いたします。

さて新型コロナウイルス感染症が広がる中、今一度、下記注意事項につき確認するため、ご連絡いたします。

### ◦稽古に参加するにあたって

自己の体調管理を個人の責任で行い、自宅での検温等問題がない事を確認の上参加すること

中学生以下はご父兄の確認の上で参加すること

### ◦稽古前後において

マスク、手洗い、うがい、消毒、ごみの管理をそれぞれが徹底すること

### ◦感染が判明した場合

本人だけでなく、家族、関連施設（職場・学校等）におけるコロナ感染が発生した場合、江東区剣道連盟（同理事長 足立）へ報告をすること

感染の早期発見とその対応のため各団体の報告体制を確認すること

### ◦熱中症について（全日本剣道連盟のホームページを参照）

子供や高齢者は熱中症に弱いので、水分補給や休憩をこまめにとるようする

第3者でも体調のすぐれない人をみかけたら、声かけをして休ませる

### ◦都剣連への報告

新型コロナウイルス感染症以外でも、稽古関連で具合が悪くなったひとが出た時は、理事長 足立へ連絡する事。都剣連に報告する義務がある。

## 稽古実施要項

◦道場においてはいかなる時においてもマスクを着用する事

◇全剣連ガイドラインに則り、マウスガード・マスク等は必須とする

◇なお、今月からアイガードの装着は個人の判断により任意とする

◇アイガード+マウスガードは熱気がこもりやすいため、熱中症の可能性があり、同時の使用はしなくてもよい

◇しかし、今年1月に破損した竹刀が目に刺さり、失明した事故が発生しました（全剣連ホームページ掲載事例）。アイガードがあれば防げた事例です。そのためアイガードがないことを踏まえ、竹刀を含めた用具の一層の手入れを心がけること

◇心と体を鍛えるための剣道が、自分の不注意によって相手を傷つけてしまうことのないようにお願いいたします

以上